

(1) 報告事項

- ア 前回（8月7日開催）の調査特別委員会の概要
について
- イ 任意協議会 第9回会議の協議内容等について

※報告事項ウ、エ、オ関係資料は別資料

平成29年 8 月 28 日

目 次

<報告事項>

県西地域の中心市のあり方に関する調査特別委員会概要	1
小田原市・南足柄市「中心市のあり方」に関する任意協議会出席報告書	4

ア 前回（8月7日開催）の調査特別委員会の概要について

県西地域の中心市のあり方に関する調査特別委員会 概要	
平成29年 8 月 28日	
県西地域の中心市のあり方に関する調査特別委員会	
日 時	平成29年 8 月 7 日（月） 13時59分から15時24分まで
場 所	第1委員会室
概 要	<p>1 議 題</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>ア 前回（7月4日開催）の調査特別委員会の概要について</p> <p>○書記から、資料に基づき調査特別委員会概要について説明をした。</p> <p>イ 任意協議会 第8回会議の協議内容等について</p> <p>○資料に基づき各委員から発言、及び傍聴された委員から発言があった。</p> <p>＜主な意見、感想等＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新市の財政推計で、合併の効果としての人件費のあり方や、中核市移行での主たる事務である保健所設置に係る経費について明確にすべきであること、それに要する財政面、特に基準財政需要額に14.1億円を見込んでいる妥当性について質疑をした。そのような中、中核市に係る質疑も多く、特に南足柄市議会からの委員からは合併議論と中核市議論を分けてほしいという話もあり、かなり方向性が変わってきたという印象を受けた。 ・中心市のあり方というものがメインになりつつあるという印象である。南足柄市と将来に向けて編入合併に係る最後の詰めの部分で、少し論点が変わってきている。最終的に編入合併であることを再度確認する。そして任意協議会から法定協議会への手続きも改めて確認したいと考えている。 ・新市まちづくり計画（案）については重点的なとりまとめであることと、方向性という大きな考え方でまとめたものであり、具体的なものは新市での総合計画で定めていくという話があった。それに関し疑念と疑問を抱いた。 ・新市まちづくり計画と中核市移行、広域連携が議論された。もともと中心市のあり方に関する任意協議会なので、これらの議論は避けては通れないが、時系列が非常に不鮮明になった感がある。編入合併の検討をしており、そのまとめができて、それが進むのであれば中核市の議論は5年かけて行うという内容であった。ところが、全部同時並行で進むような説明であったと受け止めたので、いろいろ錯綜したのかと感じた。新市まちづくり計画についても、合併という形ができたのであればその段階で総合計画をつくると。まずは重

点事業のすり合わせをするということが初めになかったので、このままで新市をつくっていくと。そうすると市民の声が十分反映されていないという声が多く出てきた。いずれにしても、次回が最後の任意協議会となるが任意協議会では合併の是非や中核市移行の是非等の方向性は出さないと考えている。

- ・中核市への移行についての協議で財源確保等は様々な形でしていくという話であったが不安要素がある。また、中核市についての周知が足りていないと感じられた。
- ・市民周知用冊子の構成について、誰もがわかりやすいようにするよう議論がされたことについては良かったと感じられた。
- ・市民目線での議論がされてきたかどうか。新市まちづくり計画には両市の特性が描かれたものも必要ではないかと感じられた。
- ・市民への周知が足りていない。合併するとどうなるかというイメージが描けていないと感じられた。

ウ 任意協議会 第9回会議の内容について

○任意協議会事務局（企画部企画政策課広域政策係）から次回（第9回会議）の協議内容等について、資料に基づき次の事項について概要説明があった。

■協議事項

【総括的事項】

協議第39号 市民周知用冊子（案）について<継続>

【合併関係項目】

協議第35号 新市まちづくり計画（案）について<継続>

■その他

- ・任意協議会の解散及び決算について
- ・法定合併協議会について

<主な質疑・意見等>

- ①任意協議会の解散とあるが、どのような整理の仕方でまとめられるのか。〇〇すべきであるという表現がされるのか。
- ②市民周知用冊子は誰を対象とし、どのような目的としているのか。
- ③市民周知用冊子は合併に係るものが主となり、中核市移行が少ないように感じられるが。

<回答>

- ①任意協議会各回で一つ一つ決めてきた内容とシミュレーションとしてこのようなことが考えられますという示し方である。
- ②全戸配布するもので、すべての市民である。まずは冊子の内容を見ていただき、市民説明会でも対応させていただき、その後の判断の材料としていただくものである。
- ③まずは、合併を理解していただくための資料である。中核市関係は合併後の話であるため、混在しないよう対応していく。

	<p>(2) 協議事項</p> <p>ア 委員会意見の取りまとめについて</p> <p>(ア) 任意協議会に係るもの</p> <p>○前段の報告事項ウの質疑応答内容を反映していく。</p> <p>イ 事務事業調整に係る各部会への調査の実施について</p> <p>○書記から資料に基づき説明をした。</p> <p>○調査のポイントとしては、調整内容や南足柄市とどのような調整をしてきたか等。</p> <p>○Aランクの事務事業調整内容を基本とし、B、Cランクの内容は事前通告制とする。</p> <p>○5回程度の調査とし、次の日程で開催。いずれも午後1時15分からとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月28日：環境部会、経済部会 ・9月13日：都市部会、建設部会、下水道部会、水道部会 ・9月14日：防災・消防部会、福祉・医療部会 ・10月5日：文化部会、子ども・青少年部会、教育部会 ・11月1日：企画部会、総務・財務部会、市民部会 <p>ウ 県西地域の中心市のあり方に関する調査の実施について</p> <p>(ア) 中核市移行について</p> <p>○書記から資料に基づき説明をした。</p> <p>○調査対象市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口30万人程度の21の中核市 ・中核市移行を断念、見送るとした2市 ・近日、中核市指定申請をした1市 <p>○調査期間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年8月中旬から9月中旬まで <p>○調査項目は提示資料のとおりとする。</p> <p>○調査終了後取りまとめ、今後の分析資料とする。</p> <p>その他</p> <p>■次回開催について</p> <p>○8月28日(月)13時15分から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・任意協議会に係る市長の考え、市民説明の実施方法、及び市民意向の把握の仕方について ・事務事業調整に係る各部会への調査の実施 ・専門的知見の活用について
特記事項	
メモ	<p>.....</p> <p>.....</p>

イ 任意協議会 第9回会議の協議内容等について

小田原市・南足柄市「中心市のあり方」に関する任意協議会 出席報告書

平成29年 8 月 28 日

小田原市議会

県西地域の中心市のあり方に関する調査特別委員会

報告者

委員長 今村 洋一

副委員長 篠原 弘

委員 井原 義雄

委員 武松 忠

第9回会議 の協議内容（概要）について、次のとおり報告いたします。

日 時	平成29年8月10日（木） 13時30分から15時47分	
場 所	小田原市民会館3階 小ホール	
出席者	協議会委員27名（欠席6名 篠原委員欠席）	
本市傍聴議員	16名（議長、副議長、調査特別委員4名、ほか10名）	
議 事	審査順	結 果
協議事項	【総括的項目】 協議第39号 市民周知用冊子（案）について<継続>	一部修正の上 承認
	【合併関係項目】 協議第35号 新市まちづくり計画（案）について <継続>	一部修正の上 承認
その 他	○任意協議会の解散及び決算について	確認
	○法定合併協議会について	確認

主な質疑・意見、回答

※概要・趣旨・小田原市議会選出議員の発言を記載

小田原市議会選出議員以外の主な発言は <その他意見・質疑等> として記載

1 開会

2 会長挨拶

3 議事

（1）協議事項

協議第36号 別紙中核市移行基本計画（案）の修正について

協議事項に入る前に、第8回会議（平成29年7月11日開催）において指摘等された箇所について資料に基づき説明があり、委員に確認された。

【合併関係項目】

協議第35号 新市まちづくり計画（案）について<継続>

第8回会議（平成29年7月11日開催）において指摘等された箇所について資料に基づき説明があった。

<その他質疑、意見等>

①新市のまちづくりの目的が書かれていない。まちを活性化するものは何とするのか。住民は、それぞれの市がどのような計画をもっているのか十分知り得ていない。そのような中でどうこたえていくのか。メッセージは何か。行財政基盤の強化も必要であるが市民に対しては、将来に向けてのまとめ方が大事と思われる。

②新市まちづくり計画書の活用は。ボリュームがあるため概要版的なものを作り、市民へ説明したらどうか。

<回答>

①大きな夢を描くことも必要であるが、厳しい行財政運営にあること、住民サービスの維持が必要となってくること、これらを検証するため多くの事務の突き合せをしてきた。その結果、合併すると行財政基盤の強化ができることが確認できたことは協議の成果はあったと考える。合併によりまちづくりの夢や期待をすることはわかるが、今までの協議はその土台となるものをしっかりとつくり上げてきたものである。

②概要版的なものの代替として、市民周知用冊子（次の議題）を示し理解を求めてまいりたいと考えている。

【総括的項目】

協議第39号 市民周知用冊子（案）について<継続>

資料に基づき事務局から説明があった。

<武松委員>

- ・18ページの今後のスケジュールにおいて、法定協を設置する場合など議会の議決を要する段階があると思われるのでそこを明記していただきたい。また、これは合併を是とした場合のスケジュールであるが合併を非とした場合のスケジュールも必要と思われる。

<回答>

- ・表記の修正等是对応したいと考えるが、事務方に一任させていただきたいと考える。

<その他質疑、意見等>

①この冊子の位置付けは本任意協議会の報告書的なものとなるのか。市民への伝え方には十分配慮する必要がある。また18ページの今後の手続きとスケジュールはもっと前のページに移し、今の事務状況がわかる表記にしたらどうか。

②18ページのスケジュールの「中核市への移行」という表記を、20ページと合わせた表記にしてはどうか。

③本冊子はボリュームもあり、なかなか見ていただけるものでもない。動画にする等、周知の工夫を求める。

<回答>

①この冊子は本任意協議会の協議結果を示すものである。伝え方は十分配慮するが、ページの移動は現段階では不可能である。

②表記を合わせるよう対応する。

③動画を利用することは難しいが、周知については工夫をし理解を深めていただけるよう行ってまいりたいと考える。

4 その他

(1) 任意協議会の解散及び決算について

○シンポジウムを9月末に予定していることから、解散日は10月末日とする。また、決算については、会合は開催せず書面での対応とさせていただく旨、事務局から説明があり、確認された。

(2) 法定合併協議会について

○今後、仮に合併をするとなった場合の参考として、資料に基づき、事務局から説明があり確認された。

5 各委員からの振り返りを含め、意見・感想を順に発言された。

6 閉会

※当該報告書は、概要であります。協議会会議における会議録とは一致しません。